

平成 26 年 9 月 8 日

各 位

不動産投資信託証券発行者名
東京都千代田区丸の内二丁目7番3号
東京ビルディング20階
産業ファンド投資法人
代表者名 執行役員 倉都康行
(コード番号 3249)
資産運用会社名
三菱商事・ユービーエス・リアルティ株式会社
代表者名 代表取締役社長 辻 徹
問合せ先 インダストリアル本部長 深井 聡 明
TEL. 03-5293-7091 E-mail: iif-3249.ir@mc-ubs.com

GRESB調査結果に関するお知らせ：最高位の「Green Star」を2年連続で取得

産業ファンド投資法人(以下「本投資法人」といいます。)は、2014年に実施されたGRESB(Global Real Estate Sustainability Benchmark)の環境対応調査において、サステナビリティに関する「マネジメントと方針」及び「計測と実行」ともに高い評価を受け、4つにランク分けされる評価の中でGRESB最高位の「Green Star」を2年連続で取得致しました。

記

1. 評価されたポイント



- 全保有物件のエネルギー消費量計測と管理
- サステナビリティに関する方針制定
- 環境性能評価格付「CASBEE」の取得
- 環境負荷軽減策への積極的な取り組み（太陽光発電設備設置、LED化推進）
- 環境認証「DBJグリーンビル認証」の取得
- ホームページのリニューアルをはじめとする情報開示への取り組み

2. 本投資法人の環境への取り組み

本投資法人は上場来、長期的視野に基づきテナントと協働して環境に配慮した物件運営を推進して参りました。また、2013年に資産運用会社がサステナビリティに関する方針を制定し、国連事務総長が提唱した「責任投資原則（PRI）」へ署名したことを受けて本投資法人もその考え方に基づいた運用を行っています。

個別物件では、建築物の環境性能を評価し格付けする評価システム「CASBEE」において、2013年2月にIIF広島ロジスティクスセンターが「B+」、2013年4月にIIF川崎サイエンスセンターが「A」の評価をそれぞれ取得致しました。また、環境負荷軽減策として、屋根貸スキーム活用による太陽光発電事業を推進（年間予想発電量約2.6MW）や照明設備のLED化推進などに積極的に取り組んでおります。

今後も日本の産業を不動産面から支えるという理念のもと、テナントと共に環境負荷低減に向けた対応を進めて参ります。

3. GRESBについて

GRESBは、環境・社会・ガバナンスへの配慮を不動産投資にも適用することで株主価値を高めることを目的として2009年に創設された組織です。2014年9月現在、130社以上の有力な機関投資家が加盟し、その運用受託資産額は総額で約890兆円（約8兆9千億米ドル [1ドル=100円換算]）にも上ります。

また、GRESBの調査は、個々の不動産を対象とした調査ではなく、不動産会社やファンドレベルでのサステナビリティへの取り組みを評価することが特徴です。機関投資家が投資先を選定する際などにGRESBのベンチマーク調査を活用することからその注目度は高く、GRESBが実施した2014年のベンチマーク調査には世界で617の不動産会社とファンドが参加いたしました。

※GRESBによる発表資料：「2014 GRESB REPORT」

以 上

【ご参考】

平成24年10月5日付：「J-REIT初の物流施設におけるDBJ Green Building 認証取得に関するお知らせ」

平成25年8月19日付：「資産運用会社によるサステナビリティに関する一連の取組みについて」

平成25年9月6日付：「J-REIT初：GRESBよりアジアで最も優れた環境事業者『Sector Leader』の認定」

* 本投資法人のホームページ：<http://www.iif-reit.com/>
サステナビリティへの取り組み